

2-5 種々の価値リスト

A 私の生き甲斐そのものとしての価値（基幹的価値）

生命（存在価値、自己、家族の生命） L10、11、12

家族の愛（創造価値の源泉となる家庭の維持） 家族との幸福な家庭の継続 L9

仕事（創造価値） 生産的 他者。社会のために働く（収入源となることが多い）
家族のために働く（創造価値を生む家族を育て支える）

主たる仕事価値

本務の現場 真（学問）、善（すべての産業）、美（芸術）、聖（宗教） L7 L8

副次的な現場 本務に関する執筆、講演、説明、スキル習得

副次的な仕事価値（本務の現場のほかに別にもつ仕事） 真善美聖がある

B 私の人生を豊かにする価値（体験価値） L7

種たる収入源ではなくて、楽しめる事、喜びを感じる事

生産的なものと消費的なもの。

人によっては、これが基幹的価値（生きがいそのもの、仕事）になる。

年代、状況の変化で、これが重要になることもある。

体験価値（収入を得るのが主目的ではないがサービスを提供するか受ける）

生産的な体験価値、指導者になる、サービスを提供

消費的な体験価値、指導者が呼び掛けることに参加する、サービスを受ける

総じて、真善美聖の提供または参加。ボランティア活動、趣味などが典型である。

制作、芸術（音楽、演劇、映画、絵画など）、学習、スポーツ、読書、スキル習得、

旅、食、

友人関係、地域関係、同窓会、